

企業名： ニチレイ

レポート名： 統合レポート2021

1. この会社が目指す姿が理解できるか

ニチレイの将来の姿を十分に理解できる情報量だった。まず、初めの経営戦略では会社の現状や、そこからどう変えていく必要があるかなどが詳しく述べられており、会社の将来像がよく考えられている。それだけではなく、ニチレイグループ重要事項（マテリアリティ）では、それぞれの課題に対する目標や具体的な取り組み、数値などが挙げられており、この先の会社の目指す姿が容易に想像できた。特に、それぞれの目標がSDGsと関連付けられていたのは最近のトレンドにあっているし、読み手からして興味のそそられるような工夫がされていた点は非常に良いと感じた。しかし、一つ気になったのが将来に向けての詳しい具体的な取り組みが、役員の話のところではしか述べられていなかった気がする。情報量的に難しいのかも知れないが、その部分をマテリアリティのところと並べて見ることができれば、読み手にとってよりわかりやすい説明になるのではないか。

2. この会社の競争優位性が理解できるか

ニチレイの競争優位性に関しても、十分に理解することができる内容であり、全体的に冷凍食品業界の先駆者としての技術や低温での物流の技術などの優位性を前面にアピールしているなど感じるほどであった。例えば、「価値創造ストーリー」の『数字で見るニチレイ』では同業種間での売り上げやシェアのランキングが載せられており、ニチレイの競争優位性がわかりやすくかつ信ぴょう性を持って示されている点が非常に良いと感じた。また、各事業の戦略が説明されているところでは、図やグラフを用いて読み手を納得させられるような内容であることはもちろん、ニチレイの強みを生かした将来の展望や、そこから得られる改善点も指摘されており、競合優位性をさらにどう生かしていくか考えられているなど感心した。この点に関しては、統合報告書を始めてみるような私でも容易に理解できたこともあり、非常に素晴らしいと感じた。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

ある程度は競争優位性に持続性があることは理解できた。上記でも指摘した通り、各々の事業戦略のところニチレイの強みだけではなく、そこから得ることが出来る課題等が示されており、将来の展望がよく見据えられているなど感じられた。また、最近では人々の環境への関心が高まっているが、「事業を通じた社会課題の解決」で環境に配慮した取り組みが実例を挙げて紹介されており、一消費者としてもこれからも信頼できる企業だなと感じられて良いと感じた。一方で、その課題に対しての具体的な解決方法、戦略等があまり示されていなかったと感じた。まだ実行に移せていないからかもしれないが、その部分が示されて

いれば、読み手により将来性を期待させることが出来たのではないかと考える。現在の時点でニチレイは同業種間でトップの位置にあるが、売り上げなどのグラフを見ると他企業を突き放しているわけではなく、追いつかれてしまう可能性もあると考えられるので、競合優位性をさらに磨いていくことは不可欠であると感じた。この統合レポートでは世界進出により力を入れていくと述べられていたので、そこは期待したいと思う。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

ニチレイは人的資本の価値向上を達成できると思う。経営者である社長が人的資産についての重要性を取り上げており、ニチレイグループ重要事項でも目標となっていたので、人的資産への投資を進めているは間違いのないといえる。また、「持続可能な社会に実現に向けた取り組み」で働きがいの向上と人材育成のための取り組みについて詳しく説明されており、情報量としても十分だと感じたが、それらの取り組みが会社やその従業員にどのような効果を与えたかといった情報もあれば、なおよいのではないかと考えた。とはいえ、ニチレイの人的資産への投資の熱意も感じられて満足のいく内容だった。

5. 報告書にはどのような改善余地があるか

内容ごとによくまとまっていて、かつ色分けやイラスト、グラフなどを使って視覚的にもわかりやすく、特にいうことはないといえるほどのできであったといえる。改善余地があるとなれば、上記でも指摘したように人的資産投資の効果などのより詳細な情報を示す図があればよかったと感じた。また、内容とは関係がない個人的な感想になってしまうが、各トピックとの境目が少しあいまいに感じられたので、その表題を大きくしたりしてもう少し強調すれば、もっと見やすくわかりやすくなると感じた。